

四谷地区協議会だより

No.

18

第18号

平成30年3月発行



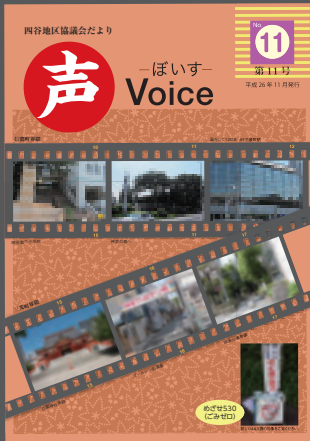
—ぼいす—  
Voice

特集

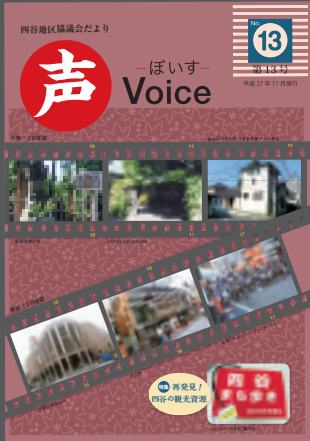
こんにちは  
町会長さん!  
スペシャル

詳しくは2~3ページをご覧ください

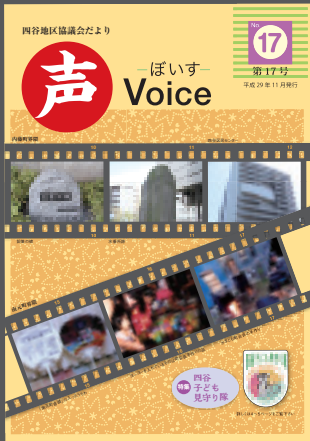
12



11



10



12



17



17



15

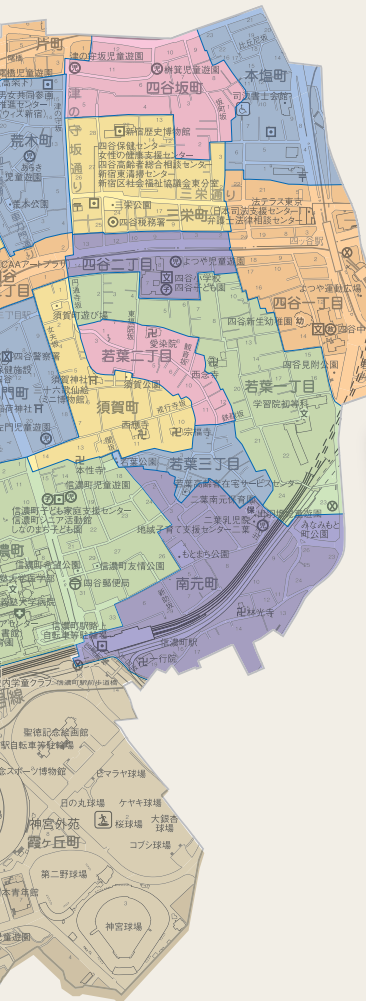
今号までご愛読いただきありがとうございました

# スペシャル...



四谷 29 町会を  
ぐるりと  
ご紹介する  
コーナー

のコーナーも、第 17 号で 29 町会全てを紹介し終わりました。  
メントを、ダイジェストで紹介します。



## 5 荒木町町会



町の中ほどの小さな公園に「金丸稲荷神社」や「策の池」(通称かっぱ池)、また「津の守弁財天」があります

## 6 四谷二丁目町会

商店会と共催の「土と苗の無料配布」は 500 人以上の行列ができます。また、年末の「餅つき」も毎年好評です

## 7 若葉二丁目町会

塙保己一や高松喜六の墓がある愛染院、服部半蔵の墓のある西念寺など、名所旧跡の多い歴史と人情のある町です

## 10 花園町町会

花園神社の例大祭、ドジョウ掘り大会、子ども相撲大会そして納涼踊り大会と、活気ある行事が町を彩ります

## 11 三栄町町会

明治から昭和初期まで四谷区役所があり、その後大木戸に移りました。「新宿歴史博物館」は訪れる人が絶えません



## 14 新宿一丁目町会

新宿御苑遊歩道があり、銀杏並木の森林浴が楽しめます。また秋葉神社には「火防守護」祈願の参拝が絶えません

## 15 左門町町会

左門町公園のクリスマスイルミネーションを毎年バージョンアップ。美しく輝いて道行く人の心を和ませています

## 16 信濃町町会

平成 26 年には JR 信濃駅が誕生して 120 年に。四谷第六小学校児童と共にお祝いのイベントを開催しました

## 20 若葉一丁目町会

旧名を伊賀町と言った当町会では、例大祭の折に赤半纏を着用します。これは赤筋の入った伊賀半纏に由来します

## 21 新宿三丁目町会

7 月には新宿通りでエイサー祭り、11 月には末広通り周辺で新宿トラッド・ジャズ・フェスティバルが開催されます

## 22 本塩町町会

明治公園から絵画館前に移植された樹齢 350 年以上の天然記念物の椎の木は、雪印乳業前から移植されたものです

## 26 大京町町会

昭和 18 年に大番町と右京町から一字ずつを取って「大京町」となり、昭和 24 年、大京町親和会として発足しました

## 27 若葉三丁目町会

商店会と協賛で毎年 8 月に「夏休み子ども大会」を開催しています。ゲームや模擬店を、大人も子どもも楽しめます

## 28 内藤町町会

多くの参拝者を迎えている多武峯内藤神社があります。神楽殿の地下には、ポンプや防災用品も備蓄しています

## 29 南元町町会

近隣町会が統合し、昭和 22 年、南元町となりました。平成 29 年には町会創立 70 周年の式典を開催しました



# こんにちは町会長さん！

毎号、2町会の町会長さんに町の魅力を語っていただいたご紹介順に、各町会長さん（当時）のコ

## 1 愛住町会

9番地に「たんきり子育て地蔵尊」があります。子どもの咳やご老人の喘息などに効能があるとされるお地蔵様です

## 2 番衆町

厚生年金会館は閉館しましたが、他にも自慢があります。町会名に残る「番衆町」という歴史ある地名です

## 3 霞ヶ丘町町会

近衛兵連隊場の名残り「馬頭観音碑」があります。都心とは思えない緑豊かな場所で、珍しい蝶も生息しています

## 4 四谷四丁目町会

笹寺には寛永元年明石志賀之助一行が興行を行った碑があり、江戸勤進相撲発祥の地として大相撲の原点です

## 8 四谷三丁目町会

新宿通り沿には防犯カメラを設置、近隣には警察署と消防署もあり、「安心・安全の町」と言えるのではないのでしょうか

## 9 四谷一丁目町会

昭和18年、麴町、伝馬町などの一部が統合して誕生。今でも須賀神社と日枝神社、両方の祭礼を行っています

## 12 須賀町町会

12の寺院と須賀神社があります。須賀神社には「三十六歌仙絵」、吉田亀五郎作の「鏝絵」も伝えられています

## 13 片町町会

合羽坂下の緑地帯に、石造りのかわいいカッパが三体あります。その昔、このあたりにカッパが出たとか出ないとか…

## 17 三光町町会

「三光」とは、町会の中心に鎮座する花園神社の別名、三光院稲荷（別当寺が三光院だったため）が由来です

## 18 新宿二丁目町会

内藤家の菩提寺、太宗寺のユニークな形の本堂と六地藏閻魔堂開慶堂三日月不動像など見てお楽しみください

## 19 四谷坂町町会

平成27年、町名が江戸～明治に使われていた「四谷坂町」に。歴史を大切にしながら心機一転、再出発しています

## 23 新宿園町会

昭和初期に「新宿園遊園地」という遊園地があり、閉園後分譲され、昭和6年に現在の町会が結成されました

## 24 舟町町会

舟板に最適な杉材が伐採され「舟板横丁」の名が起こり、明治5年に四谷舟町となったのが町名の由来です

## 25 新宿四丁目町会

新宿駅の東南に位置し「天龍寺」を中心に栄えた町です。江戸三大名鐘の一つ「時の鐘」が現存しています



四谷地区協議会主催  
地域で学ぶ「四谷学」第9回「地域を識る」勉強会  
「続・四谷の魅力」さがし  
～四谷の道路から見る暮らし～

どんなに写る様子  
がかわれども、四谷の  
暮らし、江戸から今と  
思いやりがあり、昔  
の姿が残ります

地域で学ぶ「四谷学」開催ロケ  
～四谷の道路から見る暮らし～  
「四谷学」は「歴史・文化・自治・まちづくり」の4つの柱から構成されています。今回は「歴史・文化」の柱に焦点を当て、四谷の歴史をたどります。また、四谷の道路から見る暮らしについても紹介します。

四谷の歴史は  
地域の課題です

四谷地区協議会主催  
地域で学ぶ「四谷学」のご案内  
日 時：平成30年11月14日（土）  
14:00～15:30  
開 場：13:30  
会 場：四谷地域センター  
12階多目的ホール  
参加料：無料 事前申し込み不要  
定 員：先着90名  
①「続・四谷の魅力」さがし  
～四谷の道路から見る暮らし～  
新地区学芸員 相木真氏  
② 家路寺との歴史交流

四谷地区協議会事務局  
（四谷特別出張所内 新地区内線87）  
電話番号 042-644-6171

★「四谷学」は四谷中学校でも開催されています。  
★全席の「座席料」が、参加費に含まれる地域で研修を共有する目的の勉強会です。

- ・「地域を識る」勉強会（講演会）を実施予定です。
- ・地域防災について引き続き話し合います。
- ・避難場所の表示方法について検討中です。

第9回地域を識る勉強会

# 第一分科会

まちづくりを考える  
(地域課題・歴史・文化・自治・  
観光まちづくり・防災・  
地域安全)

平成30年度 四谷地区協議会主催 体操教室予定表

会場名	開催日	受付時間	体操時間	参加費
四谷ひろば	毎週火曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回300円
		四谷ひろばでは、初回の受講に際し「大人のサロン」入会金（1年間有効500円）が別途必要となります。入会後は「大人のサロン」の他の講座の受講も可能です。		
★信濃町シニア活動館	毎週火曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回300円
若葉地区（ライトコート四谷）	毎週水曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回300円
四谷地域センター	◎水曜日	10時15分～10時30分	10時30分～11時30分	1回300円
★本塩町地域交流館	毎週金曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回300円
四谷中学校・花園小学校	※土曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回300円
★新宿地域交流館	第1・3火曜日	9時45分～10時	10時00分～11時30分 体操＋講義（体によいお話）	1回300円
	第2・4木曜日	10時15分～10時30分	10時30分～11時30分	

★印の地域交流館、シニア活動館の会場にご参加の方は、初回に各館の利用登録（無料）が必要です。身分証明書（健康保健証等）をご持参ください。

◎四谷地域センターは会場の都合で休講となることがあります。事前に必ず事務局へお問合せの上ご確認ください。

※花園小学校・四谷中学校会場は、学校と協議の上会場が決定されます。開催日については事前にお問合せの上ご確認ください。

★新宿地域交流館は、祝日により開催日が変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせいただくか、チラシをご覧ください。

◎平成30年度より、参加費用が**全会場300円**となります。何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

お問い合わせ：四谷地区協議会第二分科会（四谷特別出張所内）

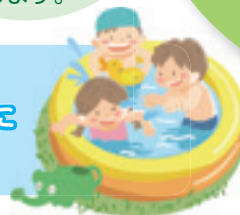


**四谷子ども見守り隊**  
地域の子どもの登校時に声掛けをし、見守る活動を引き続き行います。



**高齢者向け体操教室**  
引き続き開催します。

9月に行われる乳幼児の  
親子向け水遊びイベントに  
参加予定です



# 第二分科会

健康で安心なコミュニティ  
づくりを考える  
(子ども・高齢者・健康)



絵葉書

## 四谷のお宝さがし実行委員会

平成28年度、十周年を迎えた「四谷のお宝さがし」。続く平成30年3月の発表会は「総集編」と銘打って、この10年間に応募のあったお宝から、委員の思い出に残るお宝をあらためて紹介しました。今後の活動費の寄付を募るため、5枚1組のオリジナル絵はがきも作成。多くの方にご協力をいただき、1口100円の寄付のお礼にこの絵はがきを差し上げました。平成30年度は、今後の活動内容について話し合っていく予定です。

## 観光まちづくり実行委員会

「四谷まち歩き」四谷の名所を地元ガイドがご案内します。(詳しくは8ページをご覧ください)



四谷まち歩き手帖

四谷地区協議会

第3分科会「みどり・環境・リサイクルを考える」

## 「内藤とうがらし」を育ててくださる方大募集!

申込みなし! 先着800苗(1苗100円)

平成30年度「内藤とうがらし」苗の配布【販売】

私たちは「四谷地区協議会内藤とうがらしプロジェクト」のキャラクター「谷イトン一家」です!  
© Yone + Yumi

活動主旨にご賛同いただき、内藤とうがらしを育成してみたいという方に苗の育成費にかかった実費でおわけします。

★育成費の実費 1苗=100円(消費税込)  
★配布日 平成30年5月12日(土) 10:00~  
ただし、苗が無くなり次第終了

★配布会場 四谷ひろば (旧四谷第4小学校) 新宿区四谷4-20

★ご用意している苗数 800苗 先着順 お一人様(1家族)4苗まで  
お願い: 資源再利用推進のため持ち帰り用紙袋をご用意ください。

その昔江戸時代の内藤新宿一帯は秋になると内藤藩の栽培するとうがらし(上を向いて実る八咫という品種)で赤い絨毯が敷かれた様な光景がみられました。七味とうがらし売りの口上でもその名は全国的に知られています! みんなで育てて楽しんでくれるとうがらしです。



ないトン君

いんい

収穫きたとうがらしは料理等にご利用ください。

【お問合せ】  
四谷地区協議会 第三分科会  
(四谷特別出張所内)  
電話 3354-6171



## 第三分科会

生活環境・まち美化を考える  
(みどり・環境・リサイクル)

## 内藤とうがらし

5月12日(土) 四谷ひろばで  
内藤とうがらしの苗を頒布します。



## ごみゼロ運動

5月と11月に新宿通り等を地域住民、地元企業、子どもたちが協力して清掃する活動を行います。



## 四谷花いっぱい運動

春と秋に地域の大人と小学生が協働で花の苗を植え付け、四谷の街路に飾る活動を行います。

## 「声」—ぼいす—の休刊にあたり

四谷地区協議会 会長 松川英夫

平成30年度を迎えるにあたり、新宿区より今まで10年間を振り返り、あらたな次のステップを提示され、なお一層の自主運営をする事となりました。当四谷地区に於いては1年前の全体会時に1年間かけて次の年度からの運営を検討する事とし、各部会もそれに向け内容等を改革してまいりました。

—ぼいす—を編集発行してきました広報部についても少数部員ではありましたが、毎回四谷地区の町会めぐりや各部会の実行委員会での事業について精力的に記事を作り、その役目を充分に果たしてきました。新しい年度を迎えるに当たり、各部のリーダーとの話し合いにより、四谷地区の広報のあり方を今までの機関紙から、ネット・ポスター等にシフトしようという意見がまとまりました。

今回の18号をもって一旦広報誌休刊とはなりますが、文字通り再度発行することもあり得ることなので、その時はまた新たな気持ちで臨んでいこうと思えます。



## 新しい助成金制度についての経過説明

四谷地区協議会 副会長 広報リーダー 野澤秀雄

四谷地区協議会は、自由な議論や新宿区との意見交換を行う区政参画の場として、また四谷地区に関わる課題を自らの発想と努力で解決する場として、地域づくりを進めていくことを目的に平成17年に設立されました。地区協議会の役割は左記の通りです。

1. 地区内の諸団体の情報の共有、ネットワークを構築する。
  2. 多様で開かれた協議会として、地区内の意見が集約される場とする。
  3. 地区の日常的課題について検討する。
  4. 基本計画等、区の計画に関して区と意見交換し、提案をする。
  5. 地区の将来像を検討する。
- そこで、四谷地区協議会は、その役割を遂行するために四つの部会で活動しています。

【第一分科会】 まちづくりを考える（地域課題・歴史・文化・自治・観光

まちづくり・防災・地域安全）

【第二分科会】 健康で安心なコミュニケーションづくりを考える（子ども・高齢

者・健康）

【第三分科会】 生活環境・まち美化を考える

（みどり・環境・リサイクル）

【広報部会】 四谷地区協議会の広報

四谷地区協議会は、町会や青少年育成委員、民生・児童委員、公募委員等地域の多様な方々が地域の課題について話し合い、解決に向けた実践を行う場として、地域全体の課題解決に一定の役割を果たしてきたと考えています。

これまで四谷地区協議会は、地域課題を掘り起し解決するため「地区協議会まちづくり活動支援補助金」を活用してきました。「四谷のお宝さがし」、「四谷まち歩き」、「健康体操」などは大変好評を得ており、四谷地区協議会の「地域解決力」は地域も含め多くの人に認められています。次年度からは、「新宿区地域協働事業助成金」と「地区協議会まちづくり活動支援補助金」が統合された新しい助成制度の活用により、一層の課題解決が期待されています。

新宿区の提唱する「新宿力」は、「自分たちのまちは自分たちが担い、自分たちで創りあげたい」と表したものです。今後、四谷地区協議会がより一層自立した地域団体として、自らの力で地域における課題解決に取り組みよう、進んでいきたいと思えます。新たな助成制度の施行にあたり、現在四谷地区協議会では、事業の見直し、あり方などについて話し合いがもたれています。





# 四谷まち歩き 特選



陽運寺 貞女お岩像

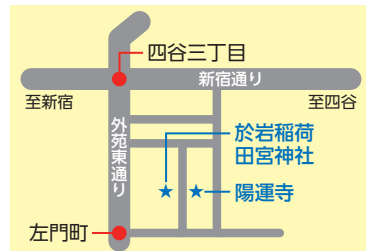


於岩稲荷田宮神社

## 東海道四谷怪談と於岩稲荷田宮神社

四世鶴屋南北が東海道四谷怪談を書いた文政8年(1825年)当時、四谷は番方(警備役の下級武士)の住まいが多く、於岩稲荷の左門町にも御先手組の組屋敷があった。於岩稲荷は屋敷地内の稲荷を信心することで家を再興できた貞女お岩(1636年没)にあやかうと巷で名声があり、この二つの要素が歌舞伎の設定に打って付けたと思われる。

創作された江戸後期の社会は、武家の家計は行き詰まり、商家が財力で台頭する中、同作品で気位だけは高い武家の凋落を揶揄することで町人の喝采を受けたという。甲州街道の四谷を東海道と設定して下級武士の町四谷のイメージで、あたかもその地の事のように、江戸市中で200年前から名前が知れた於岩稲荷と貞女お岩をスキャンダラスな怪談話に替えてしまった。武士の忠義物としての忠臣蔵と人物が交錯するその外伝の東海道四谷怪談(武士の凋落)をセットで上演する四世鶴屋南北の歌舞伎の演出が市中で大変受けたという。



陽運寺・於岩稲荷田宮神社 MAP

観光まちづくり実行委員会では、これまで年間を通し以下の内容で「四谷まち歩き」を実施してきました。  
平成30年度の予定につきましては、決まり次第広報しんじゅくやチラシ、インターネットサイト「四谷カレンダー」等でお知らせします。

- 四谷地域の文化施設を巡る Part. 1 ~文学座、民音音楽博物館、聖徳記念絵画館~
- 四谷地域の文化施設を巡る Part. 2 ~消防博物館、荒木町、新宿歴史博物館~
- 内藤新宿まち歩き ~宿場町・内藤新宿の風情を訪ねて~
- 信濃町駅界隈散策と神宮外苑いちようまつり ~美しい秋の風景を探して~
- 南寺町を訪ねて ~四谷ゆかりの歴史上の人物を巡る~
- 外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ~外堀の桜を体感~

甲州街道界隈まち歩きと新宿歴史博物館 ~四谷今昔物語~ 平成30年 5月19日(土) 広報しんじゅく 4/25号掲載予定

### 編集後記

◆平成21年発行の第1号から、編集業務に携わって来ました。その後リーダーとなり、表紙の写真を撮影するために、カメラを担いで西へ東へ。四谷の街を歩き回ったのもいい思い出です。

◆次年度から編集作業の仕組みや助成金制度が変わり、広報誌の在り方や見直しのため一時休刊とさせていただきます。今後は、インターネットサイト「四谷カレンダー」や「四谷のちらし」、町会掲示板などを利用し、形を変えて広報活動を行っていく予定です。

◆今号は、表紙・内容を変え、経過報告と今後の方向性等を載せました。町会欄は、各町会の「一言目録」を抜粋して掲載しました。これまでご精読いただき、まことにありがとうございます。

◆創刊より誌面を支えて頂いた執筆者の方々、写真や情報を提供して頂いた方々、印刷会社の方々、部員の皆様、区の支援など多くの方に感謝いたします。

広報リーダー 野澤秀雄

地区協議会が発足した平成17年度より広報部に参加し、広報誌「声」一ぱいすーの編集に携わってきました。各分科会の精力的な活動を広く広報するとともに、活発な意見交換ができました。十数年に及ぶ広報部での活動は、私の誇りでもあります。思い出ほ尽きませんが、生まれ代わる今後の地区協議会にも大いに期待しています。

阿部昭雄

広報誌「声」一ぱいすーは、四谷地区協議会のキャッチフレーズ「あなたの声」が四谷を変えるから命名されたそうです。「声」一ぱいすーは休刊しますが、四谷地区協議会がこれからも、地域の一人一人が発する大きな声、小さな声を吸い上げる「器」として機能することを、願ってやみません。

F

### 編集・発行

四谷地区協議会【事務局】(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町87番地

電話 3354-6171

FAX 3350-9403

E-mail: yotsuya@city.shinjuku.jp